

『道の駅「やまがた蔵王」』事業概要



道の駅「やまがた蔵王」整備事業

基本コンセプト 「山形の魅力を発信し、人の流れを生み出す道の駅」

①蔵王、そして山形の地域資源の魅力を発信し、人を呼び込むゲートウェイ機能を果たし、新たな人の流れを創出する空間

②周辺施設等の連携の要として、道路利用者のみならず市民、そして周辺地域の住民が日常的に集い、山形を体感しながら心地よくつろぎ交流できる空間

【事業手法】

- 国との一体型による整備
- DBO方式：民間の経営能力及び技術的能力を活用し、事業者が公共の資金で施設の設計・建設から運営・維持管理までを一括で行う。

【施設概要】

- ・ 山形上山ICより車で3分（山形市表蔵王地内）
- ・ 敷地面積：21,160.91㎡・延床面積：2,488.48㎡・駐車場377台
- 休憩機能：トイレ、休憩コーナー、駐車場、駐輪場
- 情報発信機能：情報発信コーナー（観光情報、道路情報等）
- 地域連携機能：多目的ホール、飲食・物販コーナー、広場
- 交通結節機能：バス待合、バス停、パークアンドライド駐車場
- 防災機能：防災倉庫、非常用電源装置、受水槽、マンホールトイレ

【災害時は防災拠点として活用】

- ・ 地域住民等の一時避難場所
- ・ 救急・復旧活動する関係機関の活動拠点

【スケジュール】

- 令和2～3年度 事業用地の取得、事業者の公募
- 令和3年度 事業者との契約締結、基本設計
- 令和4年度 実施設計、建設工事 **10月着工**
- 令和5年度 建設工事 **12月オープン**

外観イメージ



情報発信・休憩コーナー イメージ



道の駅「やまがた蔵王」【案内図・配置図】



広場 イメージ



- 建物色調
- 駅前商業施設
 - 道の駅
- 外付区域区分
- 道路区域
 - 遊歩帯区域



- 大型34台
- 小型339台
- 自動二輪8台
- おもいやり6台
- EV 3台

■ 東側に蔵王、西側に月山を望む風光明媚なエリア

■ 山形の野菜や肉を購入し、芋煮やバーベキューを楽しめる広場

■ 路線・高速バスの停留所、バス待合、パークアンドライド駐車場

■ EV充電設備、ロードバイク駐輪場

道の駅「やまがた蔵王」【平面図】

デジタルサイネージ



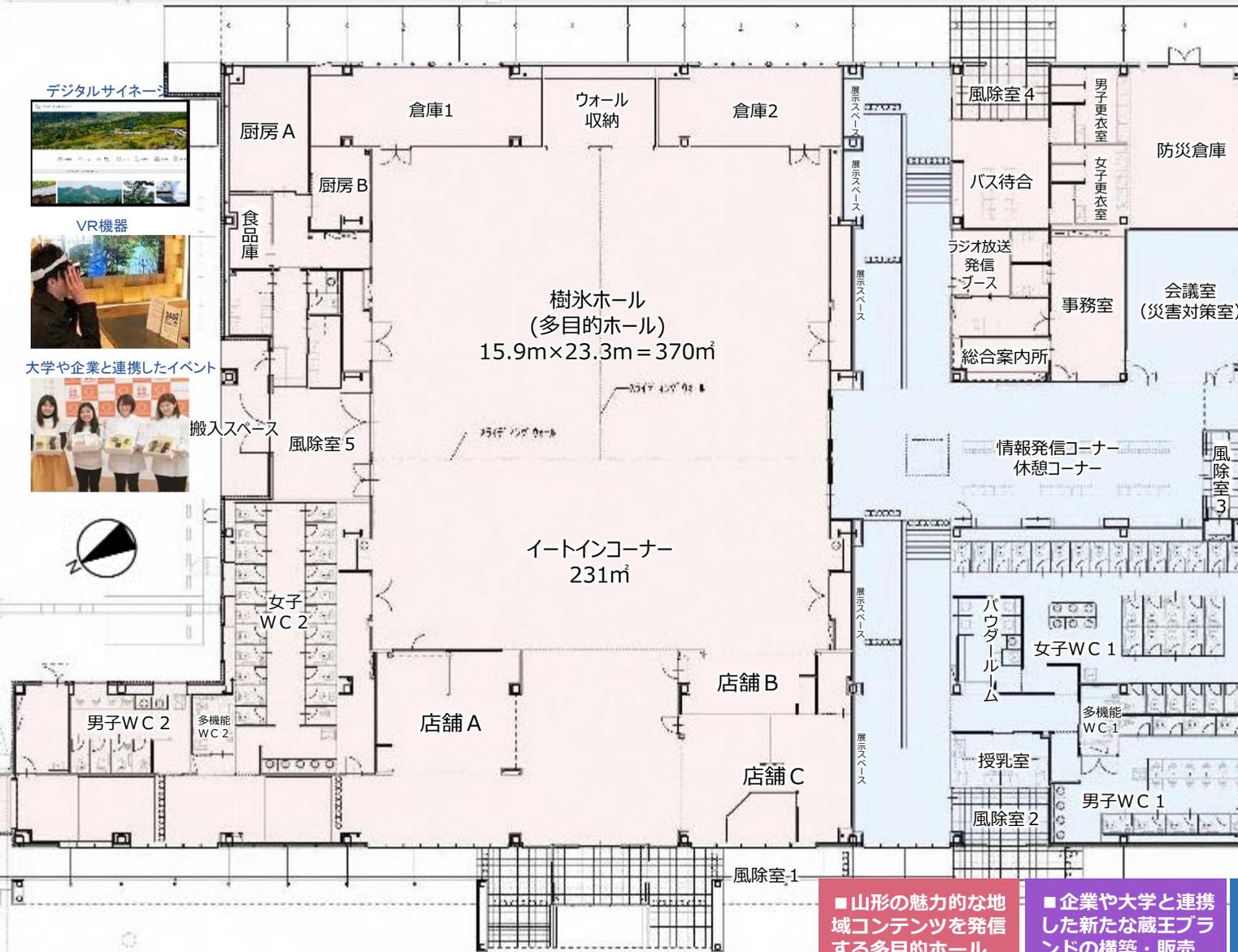
VR機器



大学や企業と連携したイベント



搬入スペース



情報発信コーナー イメージ



■山形こけしや山形組子など山形の伝統工芸品を展示

総合案内所 イメージ



■スタッフによる来訪者のニーズに合わせたおもてなし

■山形の魅力的な地域コンテンツを発信する多目的ホール

■企業や大学と連携した新たな蔵王ブランドの構築・販売

■山形の伝統文化・伝統工芸の発信

■山形の四季や文化を体験できる着地型旅行商品の販売

基本コンセプト「山形の魅力を発信し、人の流れを生み出す道の駅」

1. 蔵王、そして山形の地域資源の魅力を発信し、人を呼び込むゲートウェイ機能を果たし、新たな人の流れを創出する空間
2. 周辺施設等の連携の要として、道路利用者のみならず市民、そして周辺地域の住民が日常的に集い山形を体感しながら心地よくくつろぎ交流できる空間

目指す道の駅

新たなビジネスを創造する道の駅

道の駅

道の駅7つの機能

- ① 休憩機能
- ② 情報発信機能
- ③ 地域連携機能
- ④ 交通結節点機能
- ⑤ 防災機能
- ⑥ 子育て応援機能
- ⑦ その他の機能

【提案書概要版より】

未知の駅

観光

知らない山形を楽しむ・山形の魅力を楽しむ

- ① 食文化
- ② アクティビティ
- ③ 農産物
- ④ 特産品
- ⑤ 伝統的工芸品
- ⑥ 自然

魅知の駅

『道の駅「やまがた蔵王」』の運営方針

【道の駅の機能】

- ① 休憩機能
- ② 情報発信機能
- ③ 地域連携機能
- ④ 交通結節点機能
- ⑤ 防災機能
- ⑥ 子育て応援機能
- ⑦ その他の機能

【提案書概要版より】



既存道の駅との

差別化

選ばれる道の駅

5つの柱

1. 目的地
2. ゲートウェイ機能
3. ブランドの発信
4. 地域から愛される施設づくり
5. 働きがいのある職場づくり